

≡ 教員からのメッセージ ≡



安部 悟

あべ さとる

私にとって2007年は、愛知大学で教え始めて20年目、現代中国学部に移って10年という節目の年になりました。現在、中国現地プログラムおよび中国語の責任者をやっており、今回はそれぞれの10年の歩みを執筆しましたが、この10年いろいろあって大変だったな～というのが実感です。でも、いつも多くの人に助けてもらい、また学生たちの頑張りに励まされてきました。今後移転問題などがあって大変ですが、現中発展のためにこれからも頑張りたいと思います。

専門分野／研究テーマ●中国近・現代文学／魯迅及び同時代の作家研究、中国語教育
主な担当科目●中国語、中国現代文学史、中国現代文学論



今井 理之

いまい さとし

年のせいか日本の将来のことが気になる。2050年、世界における日本の地位はどう変わっているか。私が若かった頃の日本は坂の上の雲を眺めていた登り坂の時代であった。1990年代以降停滞感が漂い続けている。少子化が進み、教育レベル、経済力が落ちている。国民の品格も相当怪しくなっている。このまま長期低落に任せるのか、反転させるのか重要な時期にきている。大学と学部についても同様の思いがよぎるこのごろである。

専門分野／研究テーマ●中国対外経済関係（貿易・直接投資など）／WTO加盟と中国経済
主な担当科目●（学部）中国貿易論、中国投資論、華人企業経済論／（院）中国経済研究Ⅱ、中国経済特殊研究Ⅸ（日中経済関係論）、演習、研究演習



梅田 康子

うめだ やすこ

人の幸福とは何でしょう。大学時代、ある小説で、こんなことばに出会いました。夕焼けを見ながら今日一日の終わりが穏やかで、明日が今日よりも少しいいと信じられれば、それが幸福。これまで、いろいろな場所でいろいろな人と出会いながら、ときどきこのことばを思い出していました。最近、こんなにわかりやすいことばにも、年相応の解釈があるのだと思います。今は、「多くを望まないこと」それが幸福の鍵だと思っています。

専門分野／研究テーマ●日本語教育／異文化間教育
主な担当科目●日本語、ビジネス日本語



小田川 圭甫

おだ がわ けいすけ

企業生活30余年の後に、大学に身を置いて、10年以上になってしまった。その時々にかなり異質な哀楽があるのは否めないが、近年人知れず嬉しく想うのは、卒業後数年を経たゼミ生から連絡があって、久しぶりに会ってみると、言葉の端々や所作振る舞いに一端の社会人としての飛躍的成長が見られ、将来への期待を感じさせられる時だ。「後生」にそんなことを期待しつつ、残された教員生活を過ごし、次なるX年の人生（余生）に繋げていきたい。photo: 1997.8

専門分野／研究テーマ●中国経済、中国の企業経営・体制改革・技術移転／アジアの地域協力と共生
主な担当科目●中国体制改革、中国企業論、日中比較経営論、現代日本社会論



加々美 光行

かがみ みつゆき

敗戦前年の1944年に12人姉の末っ子として大阪府に生まれました。両親とも実家が離散状態だったので田舎というものがなく、敗戦前後の困窮期に食料難から私は餓死寸前にまでなり、一家は東京へと夜逃げ状態で移り住みました。以来東京住まいのおかげで東京大学社会科学部に学ぶことが可能となり、学問の道にも入ることになったのです。自分の貧しい暮らしの体験からアジアに興味を持ち、卒業後アジア経済研究所に入り中国研究の仕事に従事して現在まですでに41年間になります。

専門分野／研究テーマ●中国政治思想／毛沢東論、文化大革命論、東アジア民族問題・国際政治
主な担当科目●(学部)現代中国学原論、中国外交論／(院)中国学総論、中国現代政治研究、現代中国学特殊研究Ⅰ、中国政法特殊研究Ⅰ(中国政治)、日中関係特殊研究Ⅵ(東アジア国際政治)



河辺 一郎

かわべ いちろう

卒業生の動向を耳にすることが多くなった。彼は上海、彼女は天津、結婚や転職……。迷いや悩み、誇りや希望を抱えつつ活躍している様子を、頼もしく、時には心配しながら聞く。翻って我が身を顧みると変化がない。この間に3冊の本、50ほどの論文、80ほどの小文を書きはした。問題関心も変化し、講義内容も変わった。しかし日々の仕事は基本的に同じ。学部が歴史を積み重ねることは、私が卒業生に何を語るのかが問われることでもあろうが、それが心許ない。時の重さに怖さを感じる10周年でもある。

専門分野／研究テーマ●国連問題／国連政策を中心にした日本外交
主な担当科目●国際関係論、現代社会とメディア、日本外交論、中国外交論、平和学



木島 史雄

きしま ふみお

目的を持って学問してはならないというのは、かねてお話ししているとおりです。大学ではとりわけそうあるべきだと、わたしは考えています。何かのためにする勉強は、作業として効率的に、どっかで命を懸けずにやる。「学問のために禪をするなら、そんな学問はやめてしまえ。そんな禪はやめてしまえ。……ひとに言えぬよろこびがあるはずだ。どうだ、自分で自分が信じられるか」。やらずにはいらぬ気持ち、何よりもそれが大切です。

専門分野／研究テーマ●中国古典学／儀礼を中心とする中国思想史、東洋の書物の文化史
主な担当科目●社会と宗教、中国思想概説



顧 明耀

こ めいよう

中国語にも日本語にも漢字を使っていますが、同じ漢字からできた語でも意味や用法が同じとは限りません。比べてみれば分かってもらえますが、とてもおもしろいのです。こういう比較に没頭してきたこの私ですが、いかにこの比較を学問にするか、いかにこの比較を活用して語学教育に使うかなども興味を持って、いろいろ考えたり試したりしてきました。愛知大学現代中国学部では、主に『中日大辞典』の編纂に携わっておりますが、また中日語彙対照・中日表現比較などの授業をも担当しております。

専門分野／研究テーマ●対照言語学(日本語・中国語)
主な担当科目●中国語語彙論、中国語表現論



黄英哲

こう えいてつ

私は台湾生まれの台湾育ちでしたが、幼少の頃から日本へはある種の憧憬と親近感を感じていたため、1985年春、留学して初めて日本の地を踏みました。まもなく四半世紀になります。日本へ留学した当初、その大学の日本語教育センターの先生が、「大きな夢があってこそ、大きな人間に成長することができる」とおっしゃったのが、その後も耳を離れません。これからも、この言葉を座右の銘の如く考えて、第二の故郷、日本で、夢を持ちつつ、歩んで行きたいと考えています。

専門分野／研究テーマ ● 台湾近現代史、台湾文学／台湾における「戦後」の意味

主な担当科目 ● (学部) 中国語、中国現代文学作家研究、閩南語／(院) 中国文化特殊研究Ⅶ (中国文学)、中国文学研究Ⅲ



高明潔 (G. Arouna)

こう めいけつ

出身は内モンゴルのモンゴル族ということで、時には人々の「モンゴル」や「モンゴル人(族)」に対する固定観念に戸惑わされる。極めて生真面目であって「決して器用な女ではないが、普通の人より何倍もの責任感を持つ」と評価されたものの、学生に「先生は日本では天然の部類に入る」とも言われた。自己や他人を裏切らず他人にも裏切られないような境地を求める理想派。涙もろいが、こういったような境地の中で、厳しく自己確立をしつつありながら、現代中国学部に愛情を注いでいる。

専門分野／研究テーマ ● 文化人類学、中国少数民族研究／中国に関する人類学的研究

主な担当科目 ● (学部) 中国語、中国民族論、民族と国家、中国現地研究実習／(院) 中国民族学研究 (Ⅰ・Ⅱ)、演習



佐野俊彦

さの としひこ

絵画を観るのが好きで、研究と趣味の旅行を兼ね、各地の美術館・博物館を訪ね回っています。特にルネッサンス絵画は、静止した風物の中にさまざまな意味が描き込まれていて、ダイナミックな躍動を見出す楽しみがあります。不動の名画における動、じっとして動かない絵画が多くの人々の心を動かすところに絵画鑑賞の妙があります。私の人生もかくありたいと心密かに思いつつ、未だにそこから遠く隔たった境地をさまようのが現実の私です。

専門分野／研究テーマ ● シェイクスピア、英詩、ルネッサンスの世界観

主な担当科目 ● (学部) 英語、文学と人間／(院) 英語圏文化研究Ⅱ、演習



砂山幸雄

すなやま ゆきお

現中に来て5年が経ちました。着任早々のSARS騒動に始まり、最近の餃子事件、チベット問題まで、日中関係にとっても現中にとっても逆風が吹き続けた5年間でした。しかし、当代中国の知識人の思想動向の分析を通じて今日の中国政治社会の変動を深層から探ろうという、日本ではあまり顧みられない研究を行っている私には、中国はますますおもしろい研究対象になってきています。四川大地震、北京オリンピック、そしてその後に来るものは……。やがて中国にも政治の時代が来る予感がします。

専門分野／研究テーマ ● 現代中国政治論／現代中国思想・文化研究

主な担当科目 ● 中国政治論、中国政治体制論、中国政治思想史、日中関係論、国際文化論Ⅱ、研究演習



薛 鳴

せつ めい

1982年に留学生として来日。いまや、日本で過ごした時間の方が長くなっている。中国では文革中に2度の「下放」を経験し、その経験が自分自身を支える精神力の源となっている。文革が終わって大学入試が復活した年に念願の大学入学が実現したが、希望学部とは違った外国語学部日本語学科に回され、不本意の中、日本語の勉強を始めるが、その偶然の出会いに感謝！ 日本(語)と中国(語)の間を行き来し、「かけ橋」となる人材の育成に微力ながら力を尽くしていきたい。

専門分野/研究テーマ ● 社会言語学、日中比較言語学/日中言語行動の比較研究
主な担当科目 ● 中国語、コミュニケーション中国語、中国語文法論、中国語学概論



高橋 五郎

たかはし ごろう

学生時代から仲間とする農村調査が好きで、爾来40年が経ってしまった。比較のためにいろんな国へ行ったが、都会は好きでなく、私にとって現地調査とは農村調査のことである。そこでまず見るのは農民の顔だ。農民の顔はどこでも素朴で、土着的で飾らない。大地と共存する農作物づくりと無縁ではないせいか？ 中国の農民もドイツの農民もタイの農民も、また日本の農民も同じ。だが農民の顔は同じでも、農業や農村には百の顔があり、理屈で解けない魑魅魍魎がある。ゆえに農村調査はやめられない。

専門分野/研究テーマ ● 中国社会調査/中国農業、農村経済問題
主な担当科目 ● (学部) 国際社会調査論、中国農民経済論、中国現地研究実習/(院) 中国経済特殊研究II (中国農村経済論)、フィールドワーク方法論、演習



張 琢

ちょう たく

私は中国社会科学院からやって参りました。関心のあるテーマは多彩です。魯迅思想、中国哲学史、中国社会学、発展理論と中国現代化研究に従事してきました。『社会学研究』を起ちあげ、10数年間主編を務めた後、愛知大学に就任しました。学部成立10年にあたっては、よき伝統を受け継ぎ、将来に向けて努力したく、また孔子の言である「学びてあかず、教えて倦まない」をもって、諸先生方、学生諸君とともに励みたいと存じます。

専門分野/研究テーマ ● 中国社会論/中国文化論、中国発展研究、中国社会変動
主な担当科目 ● (学部) 中国史概説、中国文化論、中国農業論/(院) 中国区域経済研究、中国文化特殊研究VI (中国社会学)、演習、研究演習



土橋 喜

どばし このむ

現中で情報処理を担当して10年が過ぎたが、現中の開設当初は今ほどパソコンが普及しておらず、タイピングも初めての200人ほどの学生を相手に、授業では四苦八苦の連続だった。今思うと当時の苦勞が懐かしい。現中の教員にとって学生を引率して中国へ行くことは授業の一部だが、専門外の私にとって引率の仕事は、まさに異分野へ転身するようなのかも知れない。現地プログラムや現地研究実習の引率も極めて印象深いものが多く、おかげで自分自身が成長することになったと感じている。

専門分野/研究テーマ ● 情報科学、問題解決における発想支援/問題構造の可視化
主な担当科目 ● 情報産業論、社会データ分析入門



馬場 毅

ばば たけし

最近お上からお達しがあり、今年から健康診断の時にメタボリック体型だと判定されると、是正しなければならないということなので（余計なお世話だと言いたいところですが）、できるだけエレベーターやエスカレーターに乗らないようにして、歩くことにしています。また授業中に、特別な理由がない限り帽子を脱いでもらっています。学生諸君はその辺のところよろしくお願いします。

専門分野／研究テーマ●中国近現代史、中国近代史における秘密結社史／抗日戦争

主な担当科目●(学部)中国社会学、東アジア近代史、中国近代経済史、中国現代経済史／(院)日中関係特殊研究Ⅱ(日中関係Ⅰ)、日中関係Ⅰ研究Ⅰ、演習、研究演習



藤森 猛

ふじもり たけし

中国映画・演劇人材のメッカ「中戯」——中国の人気俳優コン・リー、チャン・ツイイーらを輩出している北京の演劇専門大学「中央戯劇学院」に3年間留学しました。早朝のキャンパスは、ともに発音練習をする学生の声で動物園のような喧騒でした。授業後は映画観賞の機会に恵まれ、700本余りを観ました。夜は俳優の卵である友人たちと夜店のある町に出かけ、大いに食べて語りました。語学の上達は、「見る・聞く・話す」を毎日続けることだと実感しました。

専門分野／研究テーマ●中国芸術論／映画・テレビ放送・新劇などの中国大衆芸術および中国語彙研究

主な担当科目●中国語、東アジア現代芸術論、授業構成法演習(中国語)、演習、映画と人間



古澤賢治

ふるさわ けんじ

中国では「走后門、拉関係」(コネによる問題処理)という言葉や「上に政策あれば、下に対策あり」という言葉が使われてきました。人治による問題解決は、中国における現実を複雑なものにし、事実を見通すことを困難にしてきました。中国は、かつては私にとって「近くて遠い国」というイメージでした。しかし、中国とは本質的に切り離せない関係にあり、相互理解と協力関係によって問題解決に当たるほかないと考えています。

専門分野／研究テーマ●中国経済論／アジア新工業化と中国、中国経済の歴史的展開、東アジアビジネス論

主な担当科目●(学部)中国経済論、発展途上国経済論Ⅲ／(院)中国経済研究Ⅳ、中国経済特殊研究Ⅵ、演習、研究演習



松岡弘記

まつおか ひろき

北海道生まれ、18歳まで道東の盆地、北見市(日本一の玉葱生産地で有名)で羊を食べて育つ、青空と北の肥沃な大地で夏は短く、しばれる長い冬。高校野球の指導者に憧れて中京大学体育学部へ、以後ずっと豊田市在住。しかし、何を間違ったか研究者の道へ入門。好きなスポーツを教えて学生を育てることとスポーツを研究することにのめり込む。いつの間にか愛大21年生。今も学生諸君に教わることの方が多い幸せな日々に感謝感激。

専門分野／研究テーマ●運動生理学／スポーツ選手のウエイトコントロールに関する研究

主な担当科目●現地プログラム生活事前教育、ヘルスエクササイズ、健康と栄養



松岡 正子

まつおか まさこ

この20年ほど、毎年数回、四川と雲南の民族地区をまわっています。ムラは海拔2000～3000メートルにあるので、山道を何時間も歩いたり、馬から落ちたり、酒を飲みすぎて気を失ったり……、何でも食べ、いろいろな処で寝、たくさんのご恩をうけてきました。近年、多くの者が山をおりてムラの解体が進み、様々なものが失われ、言語までもが消えようとしています。彼らとともに「文化を書く」仕事ができればと願っています。

専門分野／研究テーマ ● 中国民俗学／西南中国の諸民族における文化の変容

主な担当科目 ● (学部) 中国民俗学、日本の文化／(院) 中国文化特殊研究Ⅴ (中国民俗学)、中国民俗学研究、演習、研究演習



三好 章

みよし あきら

歴史について——こどもの頃から、本と音楽が好きです。それが昂じて今の仕事をしています。歴史学をやっています。現在と関係のある過去が、歴史です。今を理解するためだけでなく、これからを展望しようとすれば、歴史は多くのことを語ってくれます。しかし、歴史はけして教訓ではありません。自分というものを、人間というものを考える時、歴史はいちばん頼りになる相談相手です。目先のことをちょっと脇に置いて、歴史を振り返ってみましょう。

専門分野／研究テーマ ● 中国近現代史／中華人民共和国教育史

主な担当科目 ● (学部) 中国史Ⅱ、日中戦争史／(院) 日中関係特殊研究Ⅲ (日中関係史Ⅱ)、日中関係史研究Ⅱ、演習、研究演習



山本 一巳

やまもと かずみ

遅れた国がどうしたら経済発展できるかを、アジア諸国に焦点を当てながら教育・研究しています。愛知大学には現代中国学部が設立された1997年から勤めています。それまではアジア経済研究所に32年間勤務し、その間にマレーシアに2年、タイに1年、フィリピンに1年滞在した経験があります。学生諸君には現象・事象を別個に捉えるのではなく、それが生じた背景、メカニズム、相互関係を考えるように教えています。

専門分野／研究テーマ ● 発展途上国経済論／南北問題、国際経済、アジア経済、人材養成、発展途上国経済論の新たなパラダイム、南北問題の新潮流

主な担当科目 ● (学部) 発展途上国経済論、南北問題／(院) 中国经济特殊研究Ⅴ (アジア開発経済論)、国際経済研究Ⅰ、演習



吉川 剛

よしかわ つよし

ユーモアを動力源に、お仕事バックを背負って、動き回っています。冷静沈着と思われているようですが、そうありたいと願うのみです。面倒が嫌いなので、いつもラクするための創意工夫に励んでいます。甘いモノと間食、おまけに人前に出るのも苦手です。「汗・根性・努力」の精神主義から距離をおくことを好んでいます。人生を語ることもかたく戒めています。生きていることの喜びを噛みしめ、愉快に暮らしたいと願っています。

専門分野／研究テーマ ● 中国語 CAI／現代中国の法意識・法文化に関する法社会学的研究

主な担当科目 ● 中国語、中国法概説、中国法



劉柏林

りゅう はくりん

七 律

愛知大学現代中国学部成立十周年有感

現中喜迎九七春，
風雨同舟重耕耘，
昔日知己多解甲，
难忘十載情誼深。

人生苦短常感慨，
甜酸辛辣五味陳，
不惜汗滴禾下土，
桃李滿園慰吾心。

愛知大学現代中国学部十周年 感有り

現中 喜び迎えし 九七の春
風雨 同舟 耕耘を重ぬ
昔日の知己 多く甲を解く
忘れ難し十載 情誼深し

人生短きを苦しみ 常に感慨す
甜酸辛辣 五味陳ぶ
惜しまず 汗の禾下の土に滴るを
桃李 園に満ちて 吾が心を慰む

専門分野／研究テーマ ● 中日言語と文化の比較、中日両国の近代化による文化と言語の変化／中日コミュニケーションの異同について

主な担当科目 ● 日中ビジネス会話、中国語、コミュニケーション中国語、中国語プレゼンテーション、研究演習